

学校番号	19	学校名	静岡県立天竜特別支援学校	校長名	湯本 健治
------	----	-----	--------------	-----	-------

**1 目指す学校像**

合言葉 『みんな 笑顔で 分かち合う』

(1) 教育目標

豊かな“心・学び・未来”

《目指す児童生徒像》

- ・自分の病状を理解し、自己調整できる人 【自分の身体を知る・自己理解】
- ・自他の良さに気づき、自信がもてる人 【主体的な表出や行動・自他の良さへの気づき】
- ・周囲の人や物と関わり、心豊かに生きようとする人 【関わる力・助けを求める力】

(2) 目標具現化の柱

- ア 《守る》 児童生徒の命を守り、心の居場所として安心して学べる学校
- イ 《育む》 教職員の指導力や病弱教育の専門性の向上を目指し、児童生徒の心理的な安定や確かな成長を支え、病状や特性に応じた授業ができる学校
- ウ 《つなげる》 保護者・天竜病院・天竜厚生会・地域・原籍校・関係機関との連携を深め、センター的機能を発揮した支援・助言ができる学校
- エ 《チーム》 教職員が互いに支えあい、チーム意識を大切にしたい、働きやすい学校

**2 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)**

(1) 《守る》 児童生徒の命を守り、心の居場所として安心して学べる学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの周知徹底や緊急時における行動計画を理解し、防災・防犯の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時対応訓練や研修で、時系列に添った行動や役割を理解し、自分の動きを具体的に想定・判断できたと答える教職員 100%</li> </ul>	危機管理課 生徒指導課 各学部
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理意識向上に関する研修を通し、児童生徒、教職員の緊急時や災害時の即応能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画、学校保健計画に基づいた防災教育・安全教育・保健教育を実施できた教員 90%以上</li> </ul>	
る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人権感覚と実践向上のための研修会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権月間や人権チェック、人権研修の内容を意識した指導や支援、実践にあたることのできたと答える教職員 90%以上</li> </ul>	生徒指導課 各学部
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他を尊重しあう環境の維持向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の人間関係や学習上・生活上の困り感の把握に努め、早期に対応したと答える教職員 100%</li> </ul>	

(2) 《育む》 教職員の指導力や病弱教育の専門性の向上を目指し、児童生徒の心理的な安定や確かな成長を支え、病状や特性に応じた授業ができる学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアステージ対応研修やOJTの取組を効果的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の基礎・基本の理解を深めたり、自ら専門性の向上に繋がる取組を実施したりした教員 100%</li> </ul>	企画会 各学部 研修課

様式第1号

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
育 む	ICT機器等を効果的に活用した授業実践を展開する。	・児童生徒の特性に対応できる方法で、興味関心を高めたり、理解を深めたりする授業づくりを実践する。	・授業の中で、ICT機器やデジタル教材を効果的に活用した教員 100%	各学部 教務課 自立活動課 情報課 事務部
	病弱教育の専門性の向上を図り、その専門性に基づく効果的な実践を行う。	・「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実践する。	・一人一授業の実施や研修会を通し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を行った教員 100%	研修課
		・作成した整理図と個別の指導計画とのつながりを明確にした自立活動を実践する。	・整理図をもとに適切な目標と指導内容を設定し、児童生徒の成長を促す実践ができた教員 100%	自立活動課 教務課

(3) 《つなげる》 保護者・天竜病院・天竜厚生会・地域・原籍校・関係機関との連携を深め、センター的機能を発揮した支援・助言ができる学校

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
つ な げ る	みゅうの丘や地域・他機関との連携により、協同学習を充実させる。	・みゅうの丘や地域・外部機関との連携を構築し、外部人材・外部機関を活用した指導・支援の充実を図る。	・みゅうの丘や地域・外部機関の人材を活用した授業や地域の方と一緒に取組む活動を実践するなど、地域と繋がることを意識して活動できた教員 100% ・学校紹介をとおして、病弱特別支援学校に対する理解が深まったと答える参加者 80%以上 ・記事作成担当者のホームページ更新 100%	各学部 進路連携課 情報課 みゅうの丘 事務局 教科等部会
	個別の教育支援計画に基づいた連携体制を確立する。	・個別の教育支援計画に基づき、本校在籍前後の学校や他機関、保護者と連携して支援や助言を行う。	・個別の教育支援計画を基に、本校在籍前後の学校や他機関、保護者に支援や助言をし、連携できた教員 80%以上	進路連携課

(4) 《チーム》 教職員が互いに支えあい、チーム意識を大切にした、働きやすい学校

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
チ ー ム	「チーム天特」による全員参加の業務改善	・退勤時刻の自己管理をする。	・自分の設定した退勤時間を意識して業務を調整した教職員 100%	職員安全 衛生委員会
		・目的や実態に合った内容や活動計画であるかを見直すことで、業務を精選する。	・担当業務や行事の見直しを行ったり、改善したりした教職員 80%以上	各学部 各分掌 事務部
		・時間設定による会議の効率化や書類のコンパクト化による業務の効率化を図る。	・効率的な会議を行ったり、書類の簡略化や各種マニュアルを参考にしたりすることで、業務がスムーズになったと感じる教職員 80%以上	各学部 各分掌 事務部